



平成 30 年 9 月 27 日

国際地震工学研修

開発途上国 8 カ国 10 名の研究者や技術者を対象とした 1 年間の地震工学
通年研修を実施します。

国立研究開発法人建築研究所では、開発途上国の若い研究者や技術者を対象とした「地震工学通年研修」を平成 30 年 10 月 2 日から開始します（平成 31 年 9 月 10 日まで）。

本研修は、地震学、地震工学、津波防災の 3 つのコースに分かれ、職員や外部講師による講義や実習などに最新の情報や知見を取り入れて行うことにより、開発途上国における地震防災対策の向上を図ることを目的に実施されます。

研修生は、それぞれの専門性を考慮した講義を受講するとともに、平成 23 年東北地方太平洋沖地震や平成 28 年熊本地震等の被災地を訪れ、被害の状況、復興、教訓等を学び、研修生の母国で抱える個別の課題に対応するための調査研究をまとめる予定です。

なお、本研修は、独立行政法人国際協力機構及び国立大学法人政策研究大学院大学との連携により、所定の成績を収めれば、修士号を取得することが可能な研修となっています。

<参考1：開講式の日程>

第59回国際地震工学研修 開講式

日時：平成30年10月2日（火）11:30～12:00

場所：JICA筑波センター（つくば市高野台3-6 代表番号 029-838-1111）

<参考2：研修生の出身国と人数（単位：人）>

バングラディッシュ(1)、ミャンマー(1)、ネパール(3)、フィリピン(1)、ペルー(1)、
エクアドル(1)、コロンビア(1)、ニカラグア(1)

(内容及び開講式取材の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所

(つくば市立原1)

所属 国際地震工学センター

職名 管理室長

氏名 飯竹理広

電話 029-879-0678(直通)

e-mail iitake@kenken.go.jp